



市監査委員事務局

常勤監査委員の必要性は

◆ 渋沢団地工事監査結果

問 代表監査委員の感想はどうか。(中村)

答 2期8年の間で、他の工事監査現場と比較し、かなり劣っていると感じた。

◆ 監査委員人事と常勤監査委員

問 本定例会に議案が提出されないのは、常勤が非常勤で人選が変わるのか。(中村)

答 対象者は自ずと変わる。

問 事務局体制の増員の考えはないか。(中村)

答 厳しい定数管理の中なので増やしたくてもできない。

問 監査機能の強化が条例改正の理由であるが、職員の監査に対する意識変革、内部評

価のできる組織、事務局体制など総合的に高めなければ、常勤の監査委員のみでは、機能強化にならない。(中村)

財政健全化の維持を

◆ 黒字決算の見通し

問 平成23年度一般会計の決算見込みは。(古畑)

答 5億2千万円以上が黒字となる見込みである。

問 財政調整基金へ積み立てると調整基金の総額はいくらになるか。また、市の基金の総額はいくらか。(古畑)

答 財政調整基金の総額は約25億円、市の基金の総額は約50億円となる予定である。

◆ 補助金のあり方

問 市民等を委員とする検討



仕事に励む市職員



市営住宅の安定した管理を

委員会を設置し、交付基準を定めてはどうか。(宮田)

答 研究する。

問 国はシルバー人材センターの補助金を減額したが、市がしなかった訳は。(宮田)

答 業務運営に支障があると判断した。補助金減額を見据えて指導しており、来年度以降段階的な減額等検討する。

◆ 市政の最大の課題は財政より人事ではないか

問 人材が枯渇するような状況に陥っていないか。(青柳)

答 今後とも「人財」となるような職員の育成に努めたい。

市民の住環境を守る

問 ◆ 市営住宅の管理委託
市営住宅を一括して県の

住宅供給公社に管理代行させるのではなく、民間も参入可能で競争原理が働く指定管理の方が良いのでは。(宮田)

◆ 空き家の安全対策

問 放置された危険な空き家について「個人資産の壁」で対策が進まず困っている。条例化で踏み込んだ対策を行う自治体もあるが。(鈴木)

答 所有者の判明分については文書により適正管理を依頼しているが強制力がなく、連絡の取れないものもある。引き続き所有者による適正管理を求めていくこととともに条例について研究していく。



早急な空き家対策が望まれる